

サイト仕様書：【部署別】稟議改善（SiteId: 319022）

- 取得元データ: [site-319022_latest.json](#)
- 取得日時: 2026-04-23T08:56:12（サイト更新日時）／設定バージョン Ver: 4

1. サイト基本情報

項目	値
TenantId	1
Title	【部署別】稟議改善
ReferenceType	Results
ParentId	319014（本システムで管理する10サイトの一つ「新・稟議申請」＝フォルダ型の親サイト）
InheritPermission	319022（自サイトIDと同一＝権限は親から継承せず自サイトで保持）
Publish	false（外部公開なし）
DisableCrossSearch	false
Creator / Updator	460 / 460
CreatedTime	2025-03-02T19:15:06
SiteSettings.Version	1.017

本サイトは **新・稟議申請**（319014）配下の子サイトであり、**ReferenceType: Results**（通常のレコード表）として稟議改善の取組み内容そのものを保持する実データテーブルである（319014自体はフォルダ型で実データを持たない）。

2. アクセス権限（Permissions）

Permissions は **種別**, **対象ID**, **権限レベル** の文字列配列で表現されている。権限値はビットフラグの加算方式のため、正確な意味は環境のロール定義に依存する。

種別	対象ID	権限レベル
Group	13	7
Group	27	7
Group	41	7
User	460	511
User	654	511

グループ41は、後述の「4. 項目定義」における **ClassC**（担当役員）の選択肢絞り込み条件、および「8. プロセス設定」の実行権限グループとしても繰り返し登場しており、本サイトにおける「担当役員」ロールを表す組織グループと推測される。

3. 画面構成

3.1 一覧画面（GridColumnns）

順番	列名（内部）	表示ラベル
1	ResultId	標準ラベル（未設定）
2	Status	標準ラベル（未設定 = 「状態」）
3	ClassZ~319016,Class109	リンク先サイト（319016）のClass109列の値を表示（ラベルは319016側の定義に依存し、本サイトでは未定義）
4	ClassZ~319016,Class110	リンク先サイト（319016）のClass110列の値を表示（同上）
5	ClassZ~319016,Class111	リンク先サイト（319016）のClass111列の値を表示（同上）
6	ClassZ~319016,Description110	リンク先サイト（319016）のDescription110列の値を表示（同上）
7	ClassA	部署
8	TitleBody	標準ラベル（未設定 = タイトル表示用の合成列）
9	Comments	標準ラベル（未設定 = 「コメント」）
10	ClassK	確認者
11	DateL	全体共有日
12	Updator	標準ラベル（未設定 = 「更新者」）
13	UpdatedTime	標準ラベル（未設定 = 「更新日時」）

ClassZ~319016,Class109 のような **{リンク元列}~{参照先SiteId}, {参照先列}** 形式は、リンク列（**ClassZ**）経由で参照先サイト319016の特定列の値をそのままグリッドに表示するPleasanterの記法であり、**SiteSettings.Links** とは別に、319016という他サイトのSiteIdがGridColumnns定義に直接埋め込まれている（詳細は7節）。

3.2 編集画面レイアウト（EditorColumnHash / Sections）

EditorColumnHash.General（タブ「General」のみ定義）：

順番	項目名（内部名）	ラベル名
1	ResultId	標準ラベル（未設定）
2	Ver	標準ラベル（未設定）

順番	項目名（内部名）	ラベル名
3	Status	標準ラベル（未設定）
4	ClassZ	稟議
5	Title	標準ラベル（未設定＝「タイトル」）
6	ClassY	取組み（Hide: true）
7	_Section-1	－（セクション「稟議改善への部署による取組み」開始）
8	ClassA	部署
9	Owner	標準ラベル（未設定＝「担当者」）
10	ClassC	担当役員
11	Body	取組み内容
12	AttachmentsA	参考資料
13	_Section-3	－（セクション「取組みについての議事録 ※必須」開始）
14	ClassB	参加者
15	AttachmentsB	議事録の要約
16	_Section-2	－（セクション「役員確認」開始）
17	ClassK	確認者
18	DateK	確認日
19	DateL	全体共有日
20	Comments	標準ラベル（未設定＝「コメント」）

Sections配列（SectionLatestId: 3）:

Id	ラベル	AllowExpand	Expand
1	稟議改善への部署による取組み	false	true
3	取組みについての議事録 ※必須	false	true
2	役員確認	false	true

Sections配列の並び順（Id 1→3→2）は `EditorColumnHash.General` 内の `_Section-N` の出現順とも一致しており、編集画面上ではID順ではなく「取組み内容」→「議事録」→「役員確認」の業務順に並ぶよう明示的に並び替えられている。

3.3 タイトル表示（TitleColumns / TitleSeparator）

TitleColumns: ["ClassZ", "ClassA", "ClassY"] を TitleSeparator: " "（半角スペース）で連結。

タイトル表示式: `[ClassZ (稟議)] [ClassA (部署)] [ClassY (取組み、既定値「の取組み」・非表示項目)]`

`ClassY` は編集画面上では非表示 (`Hide: true`) だが `DefaultInput: "の取組み"` が初期値として自動投入され、タイトル生成時に「〇〇部署の取組み」のような文言を補うための裏方項目として使われていると推測される。

4. 項目定義 (Columns)

列名 (内部)	種別	表示ラベル	説明・入力ガイド	備考
ClassA	文字列 (分類)	部署	—	<code>ChoicesText: [[Depts]]</code> (部署マスタ選択)、 <code>DefaultInput: [[Self]]</code> (自分の所属部署を初期値)、 <code>ExtendedControlCss: code-readonly2</code> (後述スタイルにより見た目上ロック)、 <code>SearchType: PartialMatch</code>
Owner	ユーザー 選択	標準ラベル (未設定 = 「担当者」)	—	<code>ExtendedControlCss: code-readonly2</code>
Body	説明 (本文・複数行文字列)	取組み内容	この稟議を今後起こさないようにするための取組内容。または取組へのアイデア、指摘など。	<code>ExtendedFieldCss / ExtendedControlCss: textarea-sizing</code> (後述スタイルでテキストエリアを自動拡張)
ClassZ	文字列 (分類) + リンク	稟議	—	<code>ChoicesText: [[319016]]</code> (319016サイトのレコードから選択)、 <code>Link: true</code> 、 <code>ValidateRequired: true</code> (必須)、 <code>FieldCss: field-wide</code> 、 <code>UseSearch: true</code> 、 <code>SearchType: PartialMatch</code>
ResultId	自動採番 ID	標準ラベル (未設定)	—	<code>Hide: true</code>
Ver	システム 標準項目 (バージョン番号)	標準ラベル (未設定)	—	<code>Hide: true</code>
ClassY	文字列 (分類)	取組み	—	<code>DefaultInput: "の取組み"</code> 、 <code>Hide: true</code> (3.3節の通りタイトル合成用の裏方項目)

列名（内部）	種別	表示ラベル	説明・入力ガイド	備考
ClassB	文字列 （分類・複数選択）	参加者	—	<code>ChoicesText: [[Users*]]</code> （ユーザー一覧から選択）、 <code>MultipleSelections: true</code> 、 <code>UseSearch: true</code> 、 <code>FieldCss: field-wide</code>
AttachmentsA	添付ファイル	参考資料	—	—
ClassK	文字列 （分類）	確認者	—	<code>ChoicesText: [[Users*]]</code> 、 <code>ExtendedFieldCss / ExtendedControlCss: code-readonly2</code> 、 <code>GridDesign: [ClassK]¥n[DateK]</code> （グリッド内で改行表示）、 <code>SearchType: PartialMatch</code>
DateK	日付	確認日	—	<code>EditorFormat: Ymdhms</code> （日時形式）、 <code>ExtendedFieldCss / ExtendedControlCss: code-readonly2</code>
Status	状態	標準ラベル（未設定＝「状態」）	—	<code>ExtendedFieldCss / ExtendedControlCss: code-readonly2</code> 。選択肢は下記の通り
ClassC	文字列 （分類）	担当役員	—	<code>ChoicesText</code> はUsersテーブルへの絞り込みビュー定義（グループ41かつ有効ユーザーのみ、UserId昇順）、 <code>ValidateRequired: true</code> （必須）、 <code>SearchType: PartialMatch</code>
DateL	日付	全体共有日	—	<code>EditorFormat: Ymdhms</code> 、 <code>NoWrap: true</code> 、 <code>ExtendedFieldCss / ExtendedControlCss: code-readonly2</code>
AttachmentsB	添付ファイル	議事録の要約	—	—

`Status` の選択肢（`ChoicesText`）：

値	表示名（一覧）	表示名（短縮）	CSSクラス
100	新規登録	新規	status-new
150	登録完了	完了	status-yellow
800	役員確認済み	確認済	status-purple
900	全体共有済み	共有済	status-closed

`Title` / `Comments` は `Columns` 配列に個別定義が無く、`EditorColumnHash`上でのみ使用される標準項目（ラベル未カスタマイズ）。

4.1 項目ごとの補足HTML（ExtendedHtmlAfterControl）

該当項目が存在しないため、この節は省略する。

5. 作成・更新権限（フィールド単位）

PermissionForCreating / PermissionForUpdating はいずれも同一の3項目に権限値4が設定されている。

列名（内部）	表示ラベル	PermissionForCreating	PermissionForUpdating
ClassA	部署	4	4
Owner	標準ラベル（担当者）	4	4
ClassB	参加者	4	4

6. 集計設定（Aggregations）

Id	GroupBy	Type	Target
1	ClassA（部署）	0	—（未指定）

Target が空のため、部署（ClassA）ごとの件数集計（Type: 0）と推測される。

7. 他サイト連携（Links / ルックアップ）

SiteSettings.Links に以下2件が定義されている。

起点列	参照先SiteId	参照先の値→自コピー先	JsonFormat
ClassZ	319016（【ISO】稟議管理）	319016のレコードをClassZ列でリンク選択（コピーではなく参照リンク）	—
ClassC	0（Usersマスタ、10サイトの対象外）	Usersテーブルをグループ41・有効ユーザーに絞り込んだビューから担当役員を選択	true

- **ClassZ→319016:** 「稟議」列（ClassZ）は【ISO】稟議管理（319016）のレコードを選択するリンク項目。3.1節のGridColumnns（ClassZ~319016, Class109 等）は、このリンクを介して319016側の複数列（Class109, Class110, Class111, Description110）の値を一覧画面に直接表示しており、正式なLinks設定（ClassZ→319016）と組み合わせて機能する。
- **ClassC→Usersマスタ:** SiteId: 0 はPleasanter予約のUsersマスタを指し、本システムで管理する10サイトの対象外。担当役員の選択肢をグループ41に絞り込むための設定であり、他サイトとのデータ連携ではない。

暗黙的なテーブル参照（ハードコードSiteId）の確認結果

- `manifest.json` の通り `ServerScripts` は0件であり、サーバースクリプトによる `items.Get(SiteId)` 等の暗黙参照は存在しない。
- クライアントスクリプト（`scripts/1_新規作成時子テーブルに留まる.js`）の内容を確認したが、他 `SiteId` のハードコード参照は無い。新規作成後のレスポンスからレコードIDを取得し、`items/{id}` へ遷移するのみで、他サイトを直接参照するコードではない。
- 上記のとおり、他サイト参照は `SiteSettings.Links`（`ClassZ→319016`）および `GridColumn` 内の `ClassZ~319016,...` 記法のみであり、いずれも正式な設定として現れている（`Scripts/ServerScripts` での隠れた参照は無し）。

サイトツリー上の位置関係（ParentId）

本サイト（319022）の `ParentId` は 319014（新・稟議申請）。319014は本システムで管理する10サイトの一つで、実データを持たないフォルダ型サイトであり、319022はその配下の子サイトの一つ（他に 319015・319016・319017も319014配下）として位置づけられる。

8. プロセス設定（Processes）

定義ファイル: [processes.json](#)

Id	Name / DisplayName	実行条件 (CurrentStatus→ChangedStatus)	動作	成功メッセージ (ConfirmationMessage)
1	登録完了	100（新規登録）→150（登録完了）	Body・ AttachmentsB必須 入力チェック後にステータス変更。通知あり（宛先: ClassC, Owner, ClassB／CC: toyokura@next-hd.co.jp, systemadmin@next-hd.co.jp）	稟議への取組み内容の確認を依頼します。宜しいですか？
2	確認完了	150（登録完了）→800（役員確認済み）	Body必須入力チェック後、グループ41のみ実行可。DateK（確認日）＝実行時刻、ClassK（確認者）＝実行ユーザーを自動セット。通知あり（宛先同上）	稟議改善への取組内容の確認を完了します。宜しいですか？

Id	Name / DisplayName	実行条件 (CurrentStatus→ChangedStatus)	動作	成功メッセージ (ConfirmationMessage)
3	全体共有	800（役員確認済み）→900（全体共有済み）	DateL（全体共有日） ＝実行時刻を自動セット。 <code>View.Own: true</code>	この取組みを全体へ共有しました。
4	差戻し	-1（任意の状態）→100（新規登録）	グループ19・41のみ 実行可。ステータスを新規登録に戻す	差戻します。宜しいですか？

Process 1・2の通知メール（`Notifications`）は、稟議対象（ClassZ）・部署（ClassA）・参加者（ClassB）・取組み内容（Body）・担当役員/確認者・確認日等を本文に埋め込んだテンプレートで、宛先に固定のCCアドレス（toyokura@next-hd.co.jp, systemadmin@next-hd.co.jp）がハードコードされている。

9. スタイル（Styles）

Id	Title	適用範囲	ファイル
1	読み取り専用	New, Edit	1 読み取り専用.css
2	基本的なスタイル	New, Edit	2 基本的なスタイル.css
3	ガイド欄	All	3 ガイド欄.css

- Style 1「読み取り専用」：`.code-readonly` / `.code-readonly2` クラスに `pointer-events: none` と背景色・太字を適用し、対象コントロールをクリック不可（視覚的に読み取り専用）にする。4節で `ExtendedControlCss: code-readonly2` が指定されているClassA・Owner・ClassK・DateK・Status・DateLに適用される。
- Style 2「基本的なスタイル」：セクション見出しの拡大、`.textarea-sizing`（Body用テキストエリアの自動拡張）、`.field-normal` / `.field-wide` の行間・余白調整。
- Style 3「ガイド欄」：`#Guide` 内の `strong` / `h3` 要素を赤字にする（全画面適用）。GridGuide/EditorGuideの強調表示に対応。

10. スクリプト（Scripts）／サーバースクリプト（ServerScripts）

Id	Title	適用画面	ファイル
1	新規作成時子テーブルに留まる	New	1 新規作成時子テーブルに留まる.js

概要: 新規レコード作成完了後（`after_set_Create`）イベントで、通常の画面遷移（一覧への遷移等）を上書きし、APIレスポンスから新規作成レコードのIDを取得して `items/{id}` のURLへ直接遷移させるスクリプト。ParentId=319014配下の子サイトとして親レコードに紐づく形で開かれる運用を想定し、作成後も

そのレコードの詳細画面（＝子テーブルのコンテキスト）に留まらせるための実装と推測される。他SiteIdのハードコード参照は無い。

ServerScripts は0件（manifest.json の ServerScripts: [] の通り）。

11. その他設定

項目	値
NoDisplayIfReadOnly	false
HideLink	未設定（キー自体が存在しない）
SectionLatestId	3
AllowCopy	false
GridGuide	設定あり（Markdown）。 GridGuide.html
EditorGuide	設定あり（GridGuideと同一内容）。 EditorGuide.html
CalendarGuide / CrosstabGuide / GanttGuide / BurnDownGuide / TimeSeriesGuide / AnalyGuide / KambanGuide / ImageLibGuide	いずれも空文字列（未設定）
Comments	Data.Comments は空配列 []（コメント投稿実績なし）。編集画面には Comments 欄が配置されており使用は可能
StatusControls	Id1「読取り専用」：Status: -1（ワイルドカード）かつ ColumnFilterHash.Status: ["800", "900"] の条件でBody・Owner・ ClassA・ClassB・ClassC・ClassZをReadOnly化。役員確認済み （800）・全体共有済み（900）到達後は主要項目を編集不可にする実 質的な確定ロック

気になる点（レビュー観点）

- 4節・9節の code-readonly2 はCSSの pointer-events: none のみによる見た目上のロックであり、Pleasanterの正式な項目単位アクセス権限（フィールドレベルパーミッション）による制御ではない。API経由の直接更新など、UIを介さない操作では制限されない可能性があり、真に確定させたい項目は11節の StatusControls（Status 800/900でReadOnly化）と役割分担されているかを確認したほうがよい。
- Process 1・2の通知CCアドレスに toyokura@next-hd.co.jp という特定個人のメールアドレスがハードコードされている。組織変更・退職時にメンテナンスが漏れるリスクがあるため、グループ宛先やロールベースの宛先に置き換えられないか要検討（機密情報ではないが運用上の懸念点）。
- Process 4「差戻し」は CurrentStatus: -1（任意の状態から実行可能）となっており、ChangedStatus: 100 に戻す強い操作。グループ19・41に限定されてはいるが、900（全体共有済み）か

らもワンクリックで差戻してしまう点は意図した仕様が確認したい。

- 3.1節のGridColumnns内 **ClassZ~319016,ClassNNN** が参照する319016側の列 (Class109/110/111, Description110) のラベル名は本サイトのJSONからは分からない。319016 (【ISO】稟議管理) の仕様書と突き合わせての確認を推奨する。
- **ClassC** (担当役員) の選択肢はグループ41ユーザーに絞り込まれているが、**Permissions** のグループ41にも編集権限(7)が付与されており、Process 2「確認完了」の実行権限もグループ41限定と一致している。設計として一貫しているが、グループ41のメンバー管理 (人事異動時の更新) が本サイトの正しい運用に直結する点は留意事項として記載しておく。